ISSN　2188-2541　　なごやの生物多様性　6：41-45（2019）

報告

コモチナデシコ属の分布調査（中間報告）

中村　肇

名古屋自然史談話会

Interim Report: Distribution survey of *Petrorhagia* spp. in Aichi, Gifu, Mie, and more.

Hajime NAKAMURA

Nagoya Natural History Society

Correspondence:
Hajime NAKAMURA　E-mail: nakamura@tameike.info

要旨

2016年（4月1日から7月31日），2017年（4月1日から7月31日），2018年（4月1日から7月31日）の3年間，愛知県・岐阜県・三重県などにおいて，道路の植栽帯や河川堤防などを踏査し，コモチナデシコ属（*Petrorhagia*）の分布状況を記録し，種子の外部形態による同定が可能な640点の標本を得た．これらの標本を精査した結果，イヌコモチナデシコ（*Petrorhagia dubia*）：366点，ミチバタナデシコ（*Petrorhagia nanteulii*）：274点，コモチナデシコ（*Petrorhagia prolifera*）：0点が確認された．

はじめに

コモチナデシコ属（*Petrorhagia*）は，地中海地方を中心に分布するナデシコ科の植物である（神奈川県植物誌調査会（編），2001）．

本属の名古屋市および周辺地域における分布について筆者は，2016年および2017年の2年間の調査で，イヌコモチナデシコおよびミチバタナデシコが広範囲に分布していることを報告した（中村，2018）．

本稿では，名古屋市および周辺地域から調査範囲を拡大し，多くの方の協力を得て収集した標本情報をもとに，愛知県・岐阜県・三重県などにおけるコモチナデシコ属の分布状況を報告するとともに，今後の調査研究へと繋げるものである．

調査地および調査方法

国内におけるコモチナデシコ属の分布を調査するにあたり，サイエンスミュージアムネット（http://science-net.kahaku.go.jp/）の詳細検索にて“学名＝*Petrorhagia*”を“部分一致”として検索を実施し，得られた全件をダウンロード後，公開されている情報から採集場所を推察し，地図上にプロットして分布調査を進める上での候補地とした．

調査期間は，2018年4月1日から2018年7月31日とし，道路の植栽帯や河川堤防などを踏査し（図1），コモチナデシコ属の情報を収集した．踏査で記録したコモチナデシコ属は，可能な限り採集し腊葉標本を作製した．併せて，多くの方の協力を得て寄贈していただいた標本についても，調査を進める上での貴重な情報として活用した．

本調査等で得られた標本については，茎および種子を鏡検し，中村（2018）に基づいて同定した（表1）．

結果および考察

本調査および中村（2018）で得られた640点の標本について，種子の外部形態による同定が可能な標本を精査

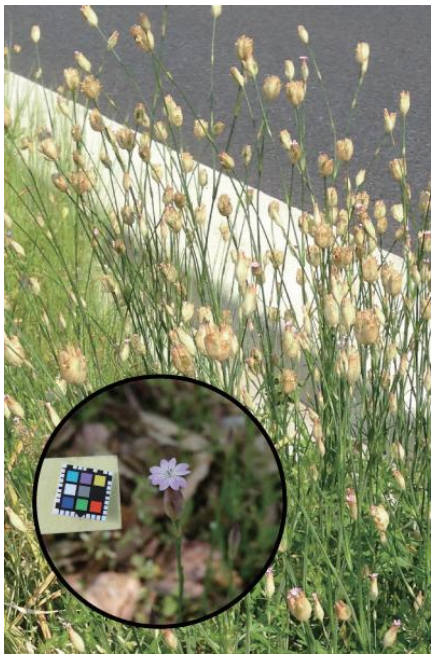

図1. コモチナデシコ属の生育環境

した結果，イヌコモチナデシコ（*Petrorhagia dubia*）：366点，ミチバタナデシコ（*Petrorhagia nanteulii*）：274点，コモチナデシコ（*Petrorhagia prolifera*）：0点で，本調査においてもコモチナデシコは確認されなかった（表2，3，4）．

これまでの調査で得られた標本情報を地図上にプロットすると，名古屋市内においてイヌコモチナデシコは全市的に広がり，ミチバタナデシコは河川や海岸近くの幹線道路沿いで多く確認されている（図2）．愛知県内においては，山間部を除く主要な幹線道路沿いに広がっていると推察されるが名古屋市周辺と比較すると三河地方での記録は少ない（図3）．

愛知県外における記録によると，岐阜県内では国道21号および長良川堤防でイヌコモチナデシコとミチバタナデシコが（図4），三重県内では国道23号沿いでイヌコモチナデシコが広がっていると推察される（図5）．また，大阪府では海岸沿いの埋立地でイヌコモチナデシコとミチバタナデシコが広がっていると推察される（図6）．

表2. コモチナデシコ属の標本点数（都道府県別内訳）

自治体名	イヌコモチナデシコ	ミチバタナデシコ	コモチナデシコ
岐阜県	18	42	0
愛知県	331	196	0
三重県	3	7	0
大阪府	10	17	0
兵庫県	4	12	0

さいごに

本調査（コモチナデシコ属の分布調査）において，主たる調査を筆者が行っていることもあり，標本の得られている地域が筆者の行動圏内に限られ，名古屋市および周辺地域に集中している．そのため，今後の継続調査においては，より多くの協力者とともに調査範囲を拡大し，

表1. コモチナデシコ属の同定

	イヌコモチナデシコ *Petrorhagia dubia*	ミチバタナデシコ *Petrorhagia nanteulii*	コモチナデシコ *Petrorhagia prolifera*
茎の節間	腺毛密生　まれに　無毛	下向き短毛　または　無毛	無毛
種子形	洋梨形 （ヘルメット形）	盾形	盾形
種皮	円錐状突起	細かい瘤状突起	緻密な網目状隆起
種子の長さ (mm)	1.0－1.3	1.5－1.8	1.3－1.6
種子の幅 (mm)	0.7－0.8	0.9－1.0	0.8－1.0
種子写真			?

表3. コモチナデシコ属の標本点数（愛知県内訳）

自治体名	イヌコモチナデシコ	ミチバタナデシコ	コモチナデシコ
名古屋市	197	123	0
豊橋市	0	0	0
岡崎市	2	2	0
一宮市	26	3	0
瀬戸市	0	0	0
半田市	0	0	0
春日井市	2	1	0
豊川市	0	0	0
津島市	1	3	0
碧南市	0	0	0
刈谷市	7	2	0
豊田市	3	2	0
安城市	1	5	0
西尾市	0	0	0
蒲郡市	0	0	0
犬山市	0	0	0
常滑市	0	2	0
江南市	1	0	0
小牧市	4	0	0
稲沢市	10	14	0
新城市	0	0	0
東海市	0	1	0
大府市	4	0	0
知多市	0	0	0
知立市	1	0	0
尾張旭市	4	0	0
高浜市	0	0	0
岩倉市	1	1	0
豊明市	1	0	0
日進市	42	0	0
田原市	0	0	0
愛西市	1	5	0
清須市	11	2	0
北名古屋市	0	0	0
弥富市	0	9	0
みよし市	1	0	0
あま市	2	5	0
長久手市	5	0	0
愛知郡東郷町	0	4	0
西春日井郡豊山町	0	0	0
丹羽郡大口町	1	0	0
丹羽郡扶桑町	1	0	0
海部郡大治町	0	1	0
海部郡蟹江町	0	2	0
海部郡飛島村	1	8	0
知多郡阿久比町	1	0	0
知多郡東浦町	0	0	0
知多郡南知多町	0	0	0
知多郡美浜町	0	1	0
知多郡武豊町	0	0	0
額田郡幸田町	0	0	0
北設楽郡設楽町	0	0	0
北設楽郡東栄町	0	0	0
北設楽郡豊根村	0	0	0

表4. コモチナデシコ属の標本点数（名古屋市内訳）

区名	イヌコモチナデシコ	ミチバタナデシコ	コモチナデシコ
千種区	9	7	0
東区	23	0	0
北区	7	0	0
西区	5	2	0
中村区	14	15	0
中区	7	0	0
昭和区	5	2	0
瑞穂区	7	1	0
熱田区	13	1	0
中川区	16	3	0
港区	28	80	0
南区	9	7	0
守山区	13	1	0
緑区	0	2	0
名東区	10	1	0
天白区	31	1	0

他の地域における現状も含めて把握していきたいと考えている．さらに，園芸植物として小規模に流通し,現時点では帰化していないと考えているハリナデシコ（*Petrorhagia saxifraga*）についても流通経路等を注視していきたい．

調査の継続に併せて増え続ける証拠標本の維持管理も課題であるが，現時点においては全ての標本を筆者が保管している．なお，個々の標本情報を必要とされる場合には筆者まで問合せいただきたい．

謝辞

大阪市周辺における分布情報について，『外来生物調査プロジェクトProject A』に参加されている方々から有益な情報をいただいた．

また，井内由美氏，伊藤昌子氏，大熊千晶氏，加藤京子氏，児玉京子氏，立松和晃氏，常木静河氏，西尾ゆう子氏，藤井俊夫氏，森川晴つみ氏，吉田直美氏の他，匿名希望を含む多くの方から情報提供などによるご協力をいただいた．ここに記してお礼申し上げる．

引 用 文 献

神奈川県植物誌調査会（編）．2001．コモチナデシコ属．神奈川県植物誌2001，p. 641．神奈川県立生命の星・地球博物館，小田原．

中村肇．2018．名古屋市および周辺地域におけるコモチナデシコ属の分布．なごやの生物多様性，5: 53-64．

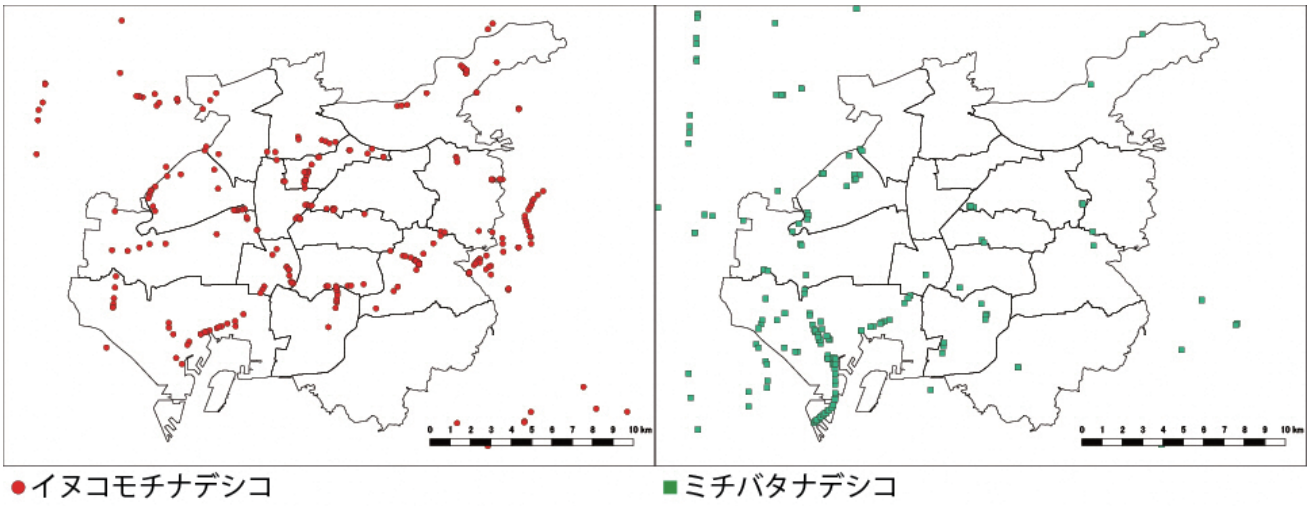

図2. コモチナデシコ属の分布（名古屋市）

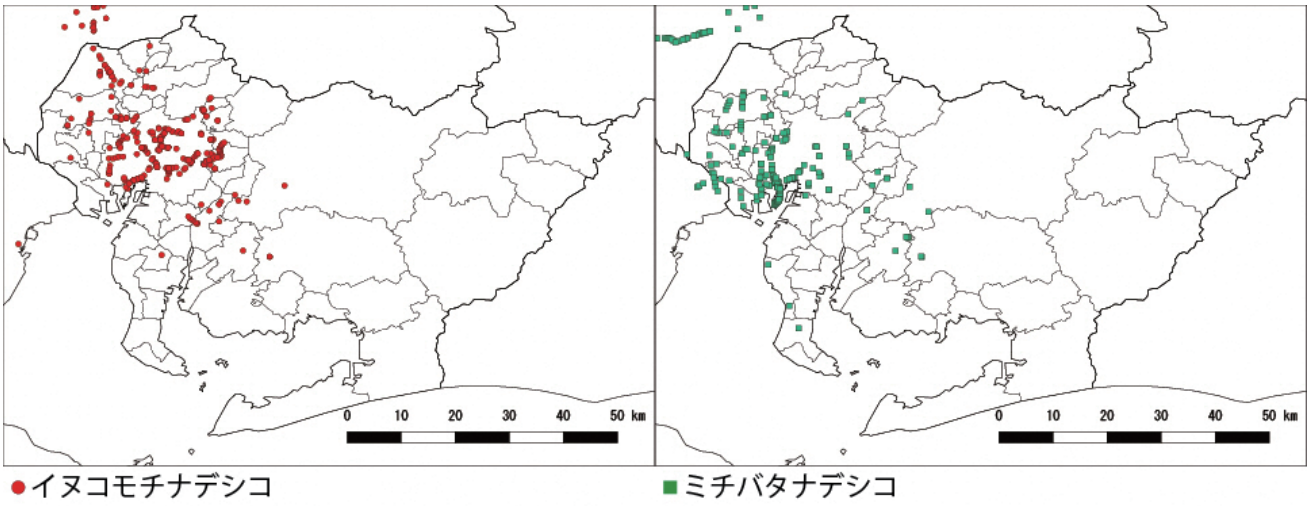

図3. コモチナデシコ属の分布（愛知県）

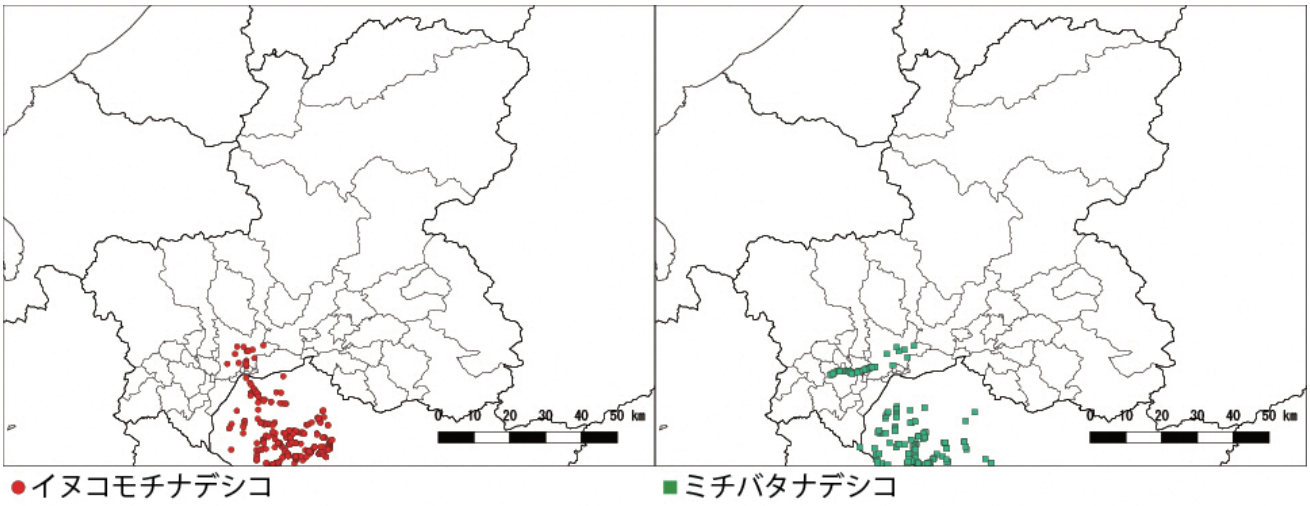

図4. コモチナデシコ属の分布（岐阜県）

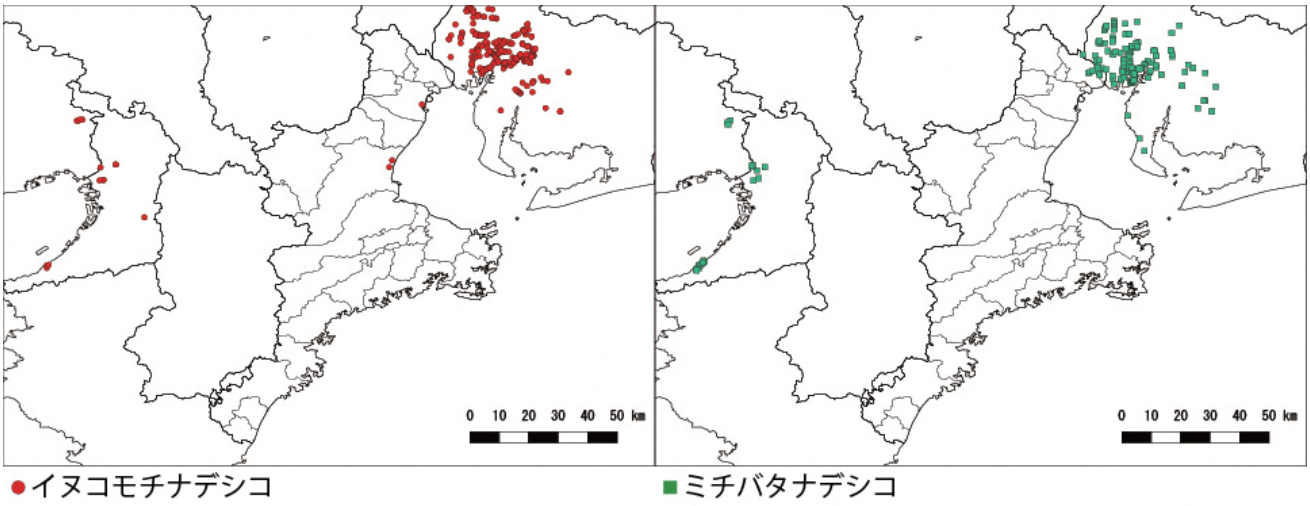

図5. コモチナデシコ属の分布（三重県）

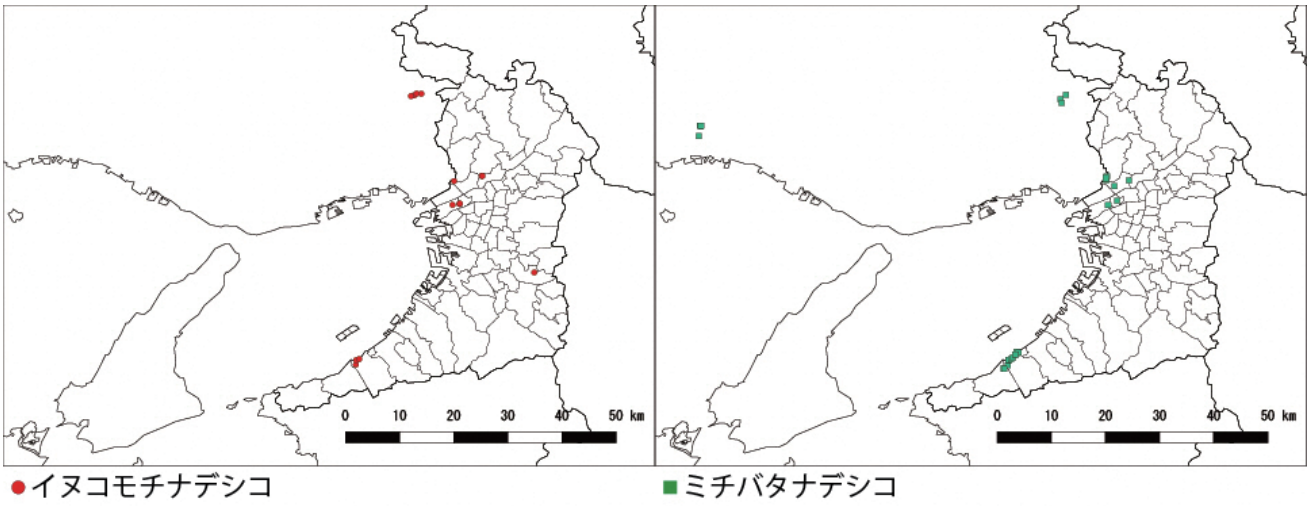

図6. コモチナデシコ属の分布（大阪府）